

和泉市 生活環境課

『ベランダ d e キューロ』平成29年1月から3月のモニタリング結果

生ごみの減量を目的に、平成26年12月より『ベランダ d e キューロ』を使ってモニタリングをおこなっています。

黒土の中にいる微生物が生ごみを分解していますが、どういった物が分解できるのか、臭いや虫など発生しないのか、また、どれだけの減量効果があるのか経過を観察しています。

1. 期間：平成29年1月から3月
2. 場所：市役所内（2号館1階にある生活環境課近くの出入口脇）
3. 投入物：市役所内喫茶食堂残渣 約400g
※主に野菜類が中心で調理くず、ヘタ、皮など
(青魚※2（イワシ、サンマ）、鶏肉、ゆでたまご、たまごのから、エビ、昆布、コロッケ、豚肉、豆腐、しゅうまい、餃子、野菜くず、ごはんくず、枝豆の皮、麺類、てんぷら)
4. 投入回数及び処理量：
毎週火曜日・金曜日の週2回投入
合 計 9回投入
処理量 3,386g (9回 × 376g)
5. 土の温度：各月平均温度〔1月 10℃、2月 10℃、3月 9.9℃〕
6. 分解日数：分解するまで 10日程度
※2：投入時に多少青魚特有の臭いがあります。

7. モニタリング状況：

モニタリング開始以降、経過は順調で、臭いの発生も無く、生ごみの分解も良好でした。外気温、土の温度、物の大きさによって分解速度が変わるため、なるべく細かくしてから投入するほうが良いようです。

1月に入ってから分解速度が夏期に比べて遅くなりました。外気温が夏に比べると顕著に下がり、土の温度も夏期に比べると下がっているためかと考えられます。

8. 投入写真：

平成 29 年 3 月 14 日



投入時の写真です。